

国際研究集会「植民地帝国日本における知と権力」プログラム

日にち：10月13日（金）～ 10月15日（日）  
場所：国際日本文化研究センター 第1共同研究室

10月13日（金）

14:00～14:30 レジストレーション

14:30～14:40 開会の挨拶 小松和彦（日文研所長）

基調報告

14:40～15:00 松田利彦（日文研）

Session 1 植民地留学生と知の環流

司会：洪宗郁（韓国：ソウル大学校）

15:00～15:35 鄭鐘賢（韓国：仁荷大学校・教授）

「“戦後”東京帝国大学留学生の進路と帝国の知の連続・非連続—李萬甲，權重輝，崔應錫等の事例を中心に」

15:35～16:10 紀旭峰（早稲田大学 地域・地域間研究機構・准教授）

「植民地台湾からの「留学生」郭明昆—知の構築と実践を中心に」

16:20～16:40 コメント 通堂あゆみ（武蔵高校） 鄭駿永（韓国：ソウル大学校）

16:40～17:30 質疑応答

10月14日（土）

Session 2 技術者・技術官僚の知

司会：宮崎聖子（福岡女子大学）

10:00～10:35 谷川竜一（金沢大学新学術創成研究機構・助教）

「1930年代の朝鮮半島における水力発電所建設技術と建設体制」

10:35～11:10 蔡龍保（台湾：台北大学歴史学系・教授）

「日治時期台湾総督府の技術官僚の出自とその活動の分析—土木官僚を例として」

11:20～11:40 コメント やまだあつし（名古屋市立大学） 李炯植（韓国：高麗大学校亜細亜問題研究所）

11:40～12:30 質疑応答

—昼食—

Session 3 植民地と法

司会：中生勝美（桜美林大学）

14:00～14:35 曾文亮（台湾：中央研究院台湾史研究所・助研究員）

「日治時期における台湾人家族法と植民地統合問題」

14:35～15:10 國分典子（名古屋大学大学院法学研究科・教授）

「植民地支配期における韓国近代憲法思想の展開」

—コーヒブレーカー—

15:40～16:00 コメント 春山明哲（早稲田大学） 岡崎まゆみ（帯広畜産大学）

16:00～16:50 質疑応答

10月15日(日)

Session 4 植民地と医学

司会：栗原純（東京女子大学）

9:30～10:05 Hoi-Eun Kim（米国：Texas A&M University, Associate Professor）

「在朝日本人医師」を概念的に解体する：集団伝記学的な基礎分析」

10:05～10:40 朴潤栽（韓国：慶熙大学校・教授）

「白麟濟の近代認識と自由主義」

10:50～11:25 劉士永（台湾：中央研究院台湾史研究所・副所長）

「日本の植民地医学から東アジア国際保健機構へ」

11:25～11:45 コメント 愼蒼健（東京理科大学） 陳延媛（台湾：中央研究院）

11:55～12:45 質疑応答

—昼食—

14:00～15:00 総合討論

15:00～15:10 閉会の挨拶 松田利彦